

未来の学校をみんなで作る通信 (MIN-TSUKU通信)

～学校再編準備室からのお知らせ～

vol. 1
(2026年6月1日発行)

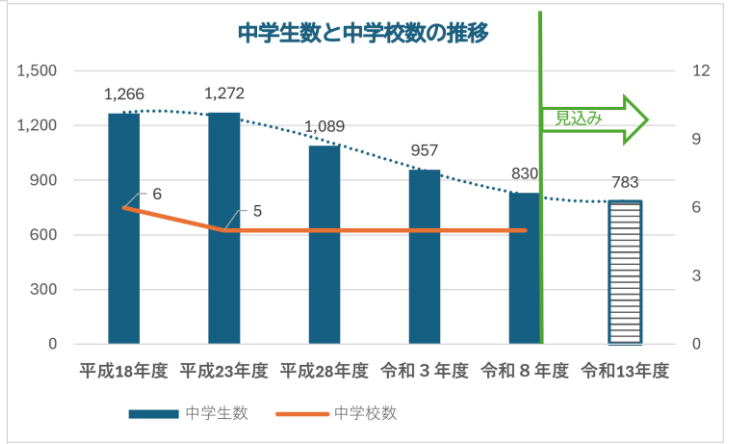
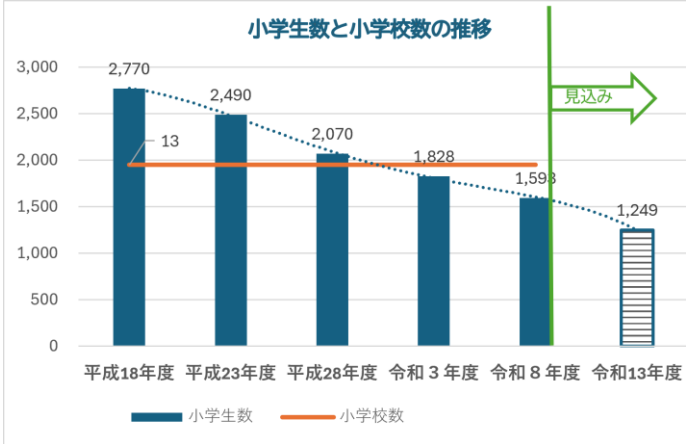
Ⅰ 創刊のごあいさつ

洲本市では、児童生徒数の減少が続く中、「こどもたちの学びを守り、未来につなぐ学校づくり」を進めています。令和8年4月には、教育総務課内に学校再編準備室が設置されました。

本日、6月1日「国際こどもの日」にあわせ、地域・保護者の皆さまと学校の未来を共有する広報媒体として「未来の学校をみんなで作る通信」を創刊します。学校の在り方や学校再編に向けての情報を、わかりやすくお届けしていきます。



Ⅱ 今回のテーマ：「児童・生徒数の将来見通し」



↑左グラフ；平成18年度から令和8年度の小学生数と小学校数の推移のグラフです。20年間で小学生数は、4割以上減少しています。

↑右グラフ：平成18年度から令和8年度の中学生数と中学校数の推移のグラフです。20年間で中学生数は、3割以上減少しています。

市立小中学校の学級数別分布図(令和8年度)※特別支援学級数は、学級数に含めていない。

令和8年5月1日現在

学校数	11校(85%)											2校(15%)		0校		
小学校 ※()内は児童数	R12 ← R12 ← R9 堺(49) R9 鳥飼(62) R11 広石(57) R13 鮎原(87) R9 都志(52) R11 由良(65) R9 安乎(65) R12 ← R9 中川原(59) R9 洲本第二(106) 洲本第一(76)											加茂(211)	大野(311)	洲本第三(393)	19~	
学級数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	~18	19~	
学校規模	小規模校											適正規模校		大規模校		
適正規模等に関する手引き	複式学級が存在する規模											単級	全年学ではクラス替えできない	半分以上の学年でクラス替えができる	標準規模校	大規模校

左表：市立小中学校の学級数別分布図です。小学校については、令和9年度には、複式学級になる可能性(黄色)があり、令和12年度には複式学級が複数できる(赤色)見込みとなっています。学校再編には、2~5年程度準備期間が必要であり、学びの環境を維持するためには早急に検討していかなければなりません。

Q.小規模校の方が連帯感があり良いのでは？
⇒A.小規模校の良さはもちろんたくさんありますが、人間関係の固定化は良い面だけではなく、悪い面もあります。様々な人と出会い多様な考え方を学んでほしいと思っています。

Ⅲ 募集中!



学校再編に向けてご意見を募集しています。(HP内で公開中)
いただいたご意見については、こちらで紹介し、疑問点にお答えしていきます。

Ⅳ 次回のテーマ：今回は、鮎原小学校運営協議会での様子をお知らせします。

--- Ⅴ 発行者 ---

洲本市教育委員会事務局
教育総務課 学校再編準備室
☎0799-22-3331
✉kyousou@city.sumoto.lg.jp